



News Release  
報道関係各位

2024年8月20日  
公益社団法人 姫路観光コンベンションビューロー

## 世界遺産・国宝『姫路城』2024 特別公開

9月1日(日)～9月30日(月)に開催 (からめて)

公開エリアは姫路城の東側に位置する高度な防御力をもつ搦手周辺  
門の内側に火薬が収蔵されていた「との四門」は、9年ぶりの公開！

世界遺産・国宝である姫路城では、2024年9月1日(日)～9月30日(月)に、多くの皆さまに日本城郭建築の最高峰である姫路城を楽しんでいただくため、特別公開が開催されます。姫路城は、白漆喰の城壁と大天守に三つの小天守が重なり合い、様々な装飾が華やかさを演出しています。それだけではなく、守りの城としての実用性が高く、戦いへの備えを意識した仕掛けも多く見ることができます。今回の特別公開では、通常非公開エリアである姫路城の東側に位置する地形と城郭の構造を利用した高度な防御力を持つ搦手(からめて)周辺を公開します。特に、かつて門の内側に穴蔵が設けられ、火薬が所蔵されていた「との四門」は、平成27年3月以来の9年ぶりの公開となります。



### ■実施概要

開催日 : 2024年9月1日(日)～30日(月)

受付時間 : 9:00～16:30 (最終入城 16:00 / 閉城 17:00)

受付場所 : 井郭櫓 (いのくるわやぐら)

※「との四門」から入城および再入城はできません。特別公開エリアは、原則一方通行となり、「との四門」からご退城いただきますので、西の丸及びお菊井戸の見学は先にお済ませください。

観覧料 : 大人・小人 (小中高生) : 200円

※別途入城料が必要となります。

※[入城料(団体料金 30名以上)] 大人 : 1,000 (800)円 / 小人 : 300 (240)円

詳細は、「姫路観光ナビ ひめのみち」 <https://www.himeji-kanko.jp/>

## ■特別公開みどころ

### <との四門>

姫路城の東側に位置する。かつては門の内側に穴蔵(あなぐら)が設けられ、火薬が収蔵されていた。今回の特別公開は、平成 27 年 3 月以来の 9 年ぶりの公開となる。

### <との櫓 (やぐら)>

東側と南側に開いている 2 つの格子窓から、との二門に向けて射撃する必要があるため、窓の下に床板を張って高くし、有効な射撃ができるようにしているとみられる。

### <との一門>

姫路城に残る櫓門で白漆喰を塗っていない唯一の門。「昭和の大修理工事」までは白漆喰が塗ってあったが、解体してみると当初は塗っていなかったことが判明したため、元のとおり素木造り(しらきづくり)に戻された。秀吉が自身の権威を示すため、姫路城の北にあった置塩城(おじおじょう)から移築したものであるとの説もある。

### <柵形虎口 (ますがたごぐち)>

搦手道(からめてみち)には、との一門・との二門で構成された柵形(ますがた)が残っている。姫路城では柵形の 2 つの城門と土塀が残っている唯一の例。

### <長壁神社遺跡 (おさかべじんじやし)>

との二門東側にある北向き石段の上の平場には、姫山の地主神・長壁神社が祀られていた。現在は「長壁神社遺跡」の石碑がある。



▲との四門



▲との櫓 (やぐら) との一門



▲柵形虎口

【姫路城について】 <https://www.city.himeji.lg.jp/castle/index.html>

姫路城は、平成 5 年(1993 年)に日本で初の世界文化遺産となりました。国宝である姫路城は、白漆喰総塗籠造りの城壁や、大天守と小天守が渡櫓で連結された連立式天守が特徴で、現在の姫路城大天守は慶長 14 年(1609 年)に建築された日本城郭の最高建築です。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれ、400 年以上が経過した今も多くの方々を魅了し続けています。

### 【今後の予定】

秋の特別公開：11 月 16 日(土)～24 日(日)

【本件に関するお問い合わせ】

姫路市観光コンベンション室 TEL：079-221-2121

姫路観光コンベンションビューロー TEL:079-287-3655/ Mali: [hime-kanko@himeji-kanko.jp](mailto:hime-kanko@himeji-kanko.jp)